

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 100

1991年

5-6月号

☒ 行 事 案 内

バードウィーク手賀沼探鳥会

(バードウォッチング入門)

昨年に引き続き「バードウィーク探鳥会」を我孫子市鳥の博物館と山階鳥研と当会の共催で開催することになりました。

コースは岡発戸市民の森から手賀沼遊歩道を通して山階鳥研まで。参加者の方は探鳥会后無料で「鳥の博物館」が見学できます。夏鳥もやってきました。身近な自然を見直してみましよう。

〈開催日〉 5月12日(日)

雨天の場合は6月9日に順延。

〈募集人員〉 先着150名まで

〈申込方法〉 往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、探鳥会参加希望と書いて、山階鳥類研究所(我孫子市高野山115)までお申込みください(5月5日の消印まで有効)

〈集合〉 我孫子市鳥の博物館前。9時から9時30分までに集合場所にて受付を済ませてください。解散は12時30分頃を予定。

〈持ち物〉 特に必要ありません。双眼鏡をお持ちの方はご持参下さい。メモ帖は便利。動きやすい服装で。

〈参加費〉 資料代等として小学生以上200円。

〈問い合わせ先〉

我孫子市鳥の博物館(85)2212

山階鳥研広報室(82)1101

共催

我孫子市鳥の博物館
山階鳥類研究所
我孫子野鳥を守る会

※ 会員の皆様へ

当会は主として探鳥会を分担することになりました。昨年同様ご支援をお願いします。

会員の方は参加申込みは必要ありませんが、参加できる方は、坂巻(82)2268へお知らせ下されれば幸甚です。

なお当日は8時50分頃までにご集合願います。

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 5月19日(日) 雨天中止

集 合 我孫子市役所 午前9時
(終了 正午頃)

案 内 コアジサシが飛び交い、アジサシがとおりすぎて行く頃です。シギ・チドリも期待できます。

担 当 飯泉、小池、西城、坂巻

軽井沢探鳥会

期 日 6月1日(土)～6月2日(日)

集 合 我孫子中央公民館 1日午前8時
(手賀沼公園の東隣)

交 通 今井観光のバス利用

宿 泊 塩壺温泉ホテル(Tel.0267-45-5441)

費 用 22,000円程度(宿泊・バス・高速・保険費用含む) 集合時集めます。

持 物 1日の昼食、雨具、2日の昼食代、...
洗面用具、観察用具。

案 内 野鳥のコーラスの素晴らしさで指折りの軽井沢を訪ねます。宿舎のホテルは数多くの野鳥を目にすることのできる所です。今から800年ほど前に源頼朝が狩をした時に発見された温泉にもつかり、ちょっとぜいたくをします。

申 込 飯泉(0471-43-7403)まで、先着20名とさせていただきます。

担 当 飯泉 仁・久美子

手賀沼探鳥会とカウント

期 日 6月9日(日) 雨天中止

集 合 我孫子市役所 午前9時
(終了 正午頃)

案 内 ヨシゴイがふはふはと飛びます。オオヨシキリの声はさかんでしょう。木蔭でサンバでも待ちますか。

担 当 畑、木村、飯泉、坂巻

◎ 行 事 報 告

○手賀沼探鳥会 (2月10日)曇

浜田 田鶴

今にも雨が降ってきそうな空模様の中、例によって車を連ね上沼へ行く。沼では人によく慣れたオナガガモが迎えてくれ、逃げる様子はない。近くでじっくり観察していると突然カワセミが目の前を横ぎる。あのコバルト色の背とオレンジ色のおなかは何度見てもすばらしい。足もとには、ホトケノザが色鮮かに花を咲かせ、春はもうすぐと言っている様でした。

次に大津川河口。このところたいして雨も

降らないのに中洲が小さくなっていていつもより鳥が少ない様に思われたが、ここでもまたカワセミの登場。チーと鳴きながら川面を飛んでいく。遠くには白黒のコントラストの美しいミコアイサが目立つ。プロミナーに雌雄つがいが入り、充分堪能させてもらった。

そして下沼の橋の上。手賀沼の何が気に入ったのか、遠く対岸にコハクチョウが2羽。他には何がいるのかと見ていると道路の反対側で田んぼの方をみんなが見ている。何かめずらしいものでは、と聞いてみるとカワセミが横の水路のところにまたもや出現。じっとポーズを取ってくれ、今日はカワセミデー。野鳥を守る会に入れていただいてから約3年になるが、カワセミは最初の頃より頻りに見られる様な気がする。何度見てもあきない。そして上空にタゲリの美しい飛ぶ姿。タゲリは3年程前、確かこの近辺に30羽位いるというのを聞いて数回通ったことがあった。道路から何枚目の田んぼの中、と教えていただいてもその時は残念ながら見つけることが出来なかったことを思い出す。

ここより少し上の方にアメリカコガモがいたというカウント班の情報で見に行ったが、すでに移動した後の様で見ることが出来なかったが今回も43種もみられ満足。幹事さん方、有難うございました。

(認めた鳥・参加者はカウント参照)

○水元公園探鳥会 (2月17日)

秋元 栄作

風速20m前後の大変な強風のため、私自身参加しようかどうか迷った末での参加だった。案の定、参加者は7人とやや少なく、鳥も、強風のため少ないかも、と思いつく金町駅前からバスに乗り込んだ。約7~8分で水元公園についた。

この公園は、昭和初期に開園されたもので、東京の東部地区では最も広い野鳥の生息地と

してよく知られているという。私は、はじめてきたが広大で野鳥観察には格好な公園であることがよく分った。

まずわれわれを待っていたのは、水面横一線に幾重にも重ってずっと遠くに見えた白い鳥の群れだった。近づいてみると、何と数千羽にのぼるユリカモメだった。キューイ、キューイと叫びながらワイワイ、ガヤガヤとやたらと騒騒しい様は、正に異様としか形容できない。餌づけされているためか、至近距離まで寄ってくる。可愛い鳥だなァと思った。

この公園には、バードサンクチュアリーがあって、その視窓からすぐそこにいる野鳥が手にとるように観察できるようになっている。そこから見ると、野鳥たちの息遣いまでもが伝わってくるほど迫力があって圧感である。いつも見慣れている手賀沼周辺とは、一味ちがった良さがたまらなく魅力に感じられた。

視窓から観察したのは、ガンカモ科の水辺の鳥が中心だったが、憧れのカワセミも飛んでくれたし、ノスリも出たり、番外として野うさぎにも出会えるなど、強風下での27種はまずまずの成果だったと思う。

近か場に、こんなすばらしい野鳥の生息地があることは、私にとって驚きであり、これからは暇をみて尋ねてみたいと思う。

〈参加者〉

川端英雄、西巻 実、田丸喜昭、柴田五郎、戸塚みち、染谷迪夫、秋元栄作 以上7名
〈確認した鳥〉

カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシヒロガモ、ノスリ、バン、ユリカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 以上27種

以上

○「平成3年3月3日の探鳥会」

飯泉久美子

今日は久しぶりの高麗川探鳥会でした。参加者は9名。初めて高麗川へ行く方々ばかりで、皆さん楽しそうでした。

飯能からは、時折り秩父の山々が見え、どんな鳥との出会いがあるか、期待に胸ふくらむのでした。

高麗の駅前広場から小高い山に向かって住宅が広がり、それを見ると何だかちょっぴり不安になるものでした。駅から約20分位歩くと高麗川の美しい流れがありました。河原に降りて、そこで昼食と探鳥をすることにしました。食事をしてくつろいでいると、セグロセキレイが私達の数メートルそばまで近づいて来て、とてもステキな声でさえずってくれ、感激しました。でもお目当てのヤマセミはまだ出ません。カワセミは時々姿を見せてくれるのでしたが、やはり回りの環境が、少しずつ変わってしまったからでしょうか。結局最後まで出てきてくれませんでした。しかし何と、この平成3年3月3日に初夏の鳥のアマツバメの乱舞を見てしまい、「これは一体どういう事か？」参加者一同頭をひねるばかりでした。

お天気も良く、梅の花も満開で楽しい一日ではありましたが、スギ花粉症の私には少々つらいものがありました。

〈認めた鳥〉 チュウサギ、コサギ、カルガモ、トビ、キジバト、アマツバメ(10)、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、キセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計27種

〈参加者〉 村井 治・登代、西巻 実、戸谷輝夫、秋元栄作、国安テル子、木幡静子、飯泉 仁・久美子 以上9名

○ 巣箱の手入れ (3月10日)

3月10日午後市役所横の林と五本松公園にかけてある11個の巣箱の手入れをする。3個の巣箱は使用した形跡があった。巣材等からみて雀が使用したものと思われる。巣箱も古いものは5年も経っていることから相当傷んでおり補修が必要だった。念入りに修理をして使用される事を願いながら懸け直す。来年は新築してやろう等と話しながら作業を終えた。お手伝いをして下さった方々お疲れ様でした。(坂巻 忠雄)

〈参加者〉 赤尾 完、大野真澄・敦子・
将史・康範、川端英雄、木原葉子、木村
稔、西城 猛、竹村竜雄、坂巻忠雄

○ 久し振りに見るスズガモの大群 3月24日、葛西臨海公園探鳥会

柴田 五郎

久し振りの探鳥会参加である。暑いと思われるほどの暖かい天気だったが風邪気味でもあったし海岸の寒い風も考えて冬そのものの服装で出かけたが矢張り暑く、駅までの徒歩20分で汗だく、アノラックもチョッキも皆脱いでしまう。駅で参加者を待っておられた幹事の西巻さん、僕の物々しい恰好に目を見張る如く、笑っておられた。

葛西臨海公園は初めて。広大な規模に驚く。最近の日本の公共施設は中央地方を問わずいづこも豪華だが、そんなのを見る度に日本は矢張り豊かになったのかなあと思う。安本さんも同じようなことを云っておられた。新聞やテレビで見た人工渚はここだった。石の築堤上で観察、一寸遠くて残念だったが沖合いの海上一面に掛けてスズガモの大群、それが一斉に飛び立つ。その様は正に“雲霞の如し”である。大分前に見た行徳と同じような光景だった。スズガモの飛立ったあとにはカンムリカイツムリの群がすいすい泳いでいる。こ

んなに多く見られるのは初めてかも知れない。今日の大きな収穫だった。

いつの間にか日が陰り寒くなっている。築堤の上は特に冷たい海風が強い。僕はアノラックのフードを冠ってしまったが冬仕度でよかったと思う。昼食は築堤の陰に風をよけてとる。トリアワセをして解散したが“今日の見ものはヨシガモ”とみんな云う。僕は見ていなかったの、“どこにいたの”と聞いたらみんな呆れ顔、“そこだ”……と築堤上にいた人達が教えてくれたがもういなかった。“柴田さんは何を見ていたの”と木幡さんに頭を叩かれたが無理もない。解散後1人残ってヨシガモを探したが分からなかった。その後公園一巡、77haという公園は流石に広い。水族園は日曜とあって凄い人、よく見られなかったが勉強になった。帰宅は5時だった。

今回は三神さんが船橋から同乗、久し振りにお会いするが、有名になった丸山サンクチュアリでのご活躍振りを拝聴する。同会の活動については朝日新聞の“街”や県民だよりも載ったが、そのお元気さは年を感じさせない。一層のご活躍を祈りたい。

三神さんと一緒に同会々員の新井さんが参加されたが越後見附市のご出身という。50年も前のことだが私の振り出しが越後六日町、そんなことから越後の話に、思わぬ楽しい思いをすることが出来た。

ご指導下さった西巻さん始め幹事の皆さんにお礼を申し上げます。 以上

「追記」

今回は会員外の方が「8」名も参加された。〈認めた鳥〉 ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、シロチドリ、ハマシギ、シギSP(オバシギ?)、イソシギ、オオソリハシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ウミネコ、キジバト、ハクセキレイ、セグロセキ

レイ、カワラヒワ、カラスSP 計27種
 〈参加者〉 安本昌彦、柴田五郎、秋元栄作、
 中ひろし、横溝和代、杉村美津子、笠間志
 朗、前多ミチ子、加藤 勤・京子、佐藤大朗
 他2名、村井 治・登代、木幡静子、新井セ
 イ、赤尾 完、三神鶴吉、西巻 実、川端英
 雄 以上21名

○手賀沼カウント (含探鳥会)

調査日時 1991. 2. 10 (くもり後雨) 9:25~11:45
〈カウント班〉 畑 幸正、西巻 実、 小池 忠、中尾照平・米子、飯泉 仁 以上6名
〈探鳥班〉 赤尾 完、秋元栄作、熊本 雄一、染谷勉夫、国安テル子、坂巻忠雄、 高橋敏夫、安本昌彦、浜田田鶴、大久保 睦夫、須川豊伸、茂木孝夫・典子、志賀 鉄雄、田丸喜昭・メリールイス、中山敬 一、小根山成男、木村 稔、飯泉久美子、 以上20名 合計26名

鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	11	25	36
カワウ	10	3	13
ゴイサギ	—	2	2
ダイサギ	—	2	2
コサギ	—	6	6
アオサギ	8	6	14
コブハクチョウ	—	3	3
コハクチョウ	2	—	2
マガモ	2	136	138
カルガモ	209	270	479
コガモ	12	77	89
アメリカコガモ	—	1	1

オカヨシガモ	40	1	41
オナガガモ	57	26	83
ハシビロガモ	2	71	73
ホシハジロ	—	5	5
スズガモ	—	1	1
ミコアイサ	8	52	60
チョウゲンボウ	—	1	1
バン	3	—	3
オオバン	55	43	98
タゲリ	—	4	4
タシギ	1	—	1
ユリカモメ	17	19	36
セグロカモメ	1	—	1
カワセミ	2	1	3
ヨシゴイ	—	1	1
計 27種	440	756	1,196

〈他に認めた鳥〉 コジュケイ、キジバト、
 ヒバリ、ハクセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、
 ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、メジロ、
 ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリ
 ン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボ
 ソガラス、ハシブトガラス 計20種
 合計47種

調査日時 1991. 3. 10 (晴後曇) 9:30~12:00
〈カウント班〉 高橋敏夫、安本昌彦、 西城 猛、飯泉 仁・久美子、中尾照平 ・米子 以上7名
〈探鳥班〉 坂巻忠雄、中 弘、川端英 雄、赤尾 完、首藤佑吉・美恵子、浜田 田鶴、大野真澄、秋元栄作、竹村竜雄、 村井 治、大久保睦夫、木村 稔、志賀 鉄雄、田丸喜昭・メリールイス、小根山 成男、小池 忠、吉池良一・みち

以上20名 合計27名

鳥種	上沼	下沼	計
カイツブリ	12	7	19
カンムリカイツブリ	1	—	1
カワウ	7	8	15
ダイサギ	—	1	1
チュウサギ	—	1	1
コサギ	—	7	7
アオサギ	22	—	22
コブハクチョウ	—	2	2
マガモ	10	38	48
カルガモ	185	76	261
コガモ	41	4	45
ヨシガモ	—	3	3
オカヨシガモ	8	—	8
オナガガモ	16	—	16
ハシビロガモ	—	107	107
キンクロハジロ	—	2	2
カモSP	—	38	38
ノスリ	1	—	1
ハヤブサ	1	—	1
バン	6	—	6
オオバン	112	46	158
ユリカモメ	32	43	75
セグロカモメ	2	1	3
タゲリ	2	—	2
カワセミ	—	1	1
計 24種	458	385	843

〈他に認めた鳥〉 キジバト、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、セッカ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ 計23種 合計47種

ご 寄 附

—金 3,000円 大田資教様
 —金 3,000円 寺田義雄様
 —金 10,000円 新妻良子様
 —金 40,000円 荒井尚徳様
 —金 3,000円 吉池良一様
 —金 5,000円 川端英雄様
 ご芳志有難く御礼申し上げます

計報

会員・立川利久さんが、去る3月9日逝去されました。
 謹しんでご冥福をお祈りし、お報らせいたします。 合掌

◆後記◆ 4月11日、クロガモ♂♀各1を山階鳥研の方が下沼で観察され、14日には♂♀各2計4羽を上沼で探鳥会にて観察しました。手賀沼では初記録と思います。 T生

我孫子野鳥を守る会会報 第100号

発行人 坂巻忠雄 TEL (0471) 82-2268
 住所 我孫子市白山2-13-13
 振替 東京 4-51628 我孫子市湖北台7-1-401 中尾方
 会費 年額 2,000円(高校・大学生 1,000円、中学生以下500円)
 我孫子野鳥を守る会 坂巻忠雄

